

「青井地区被災市街地復興土地区画整理事業（案）説明会」における主なご意見・ご質問

開催日時： 令和4年2月17日（木）18：00～（1回目）

会 場： 東西コミュニティセンター

	ご意見・ご質問	回答（市）
1	<p>・国道445号の拡幅は、土地区画整理事業の施行区域で収まるということか。</p>	<p>・土地区画整理事業施行区域内の国道445号は土地区画整理事業による整備になる。 当該区域に含まれていない国道445号の拡幅も想定され、その場合は直接買収方式による整備が想定される。</p>
2	<p>・昨年、国道445号の交通量調査をしていたと思うが、どのくらいの交通量があったのか。</p>	<p>・交通量調査については、熊本県が実施している。後日確認し、公表できるものについてはお伝えしたい。</p>
3	<p>・交通量調査の結果により、国道445号の拡幅が必要だと判断されたと思うが、例えば、拡幅せずに一方通行という手法もあると思う。拡幅ありきで進んでないか。地区の方々がそれで良いのであれば問題ないと思うが、そのあたりをどうやって進められたのか。</p>	<p>・国道445号の拡幅については、これまでも地区別懇談会でもご説明し、拡幅が必要かどうか皆様から意見もいただいた。 当国道は、緊急輸送道路という位置づけになっているが、令和2年7月豪雨において、漂流物などにより道路が閉塞し、避難の観点において不都合が生じた。 当国道は、熊本県が管理する国道であるが、本市としても、災害時にも機能するような幅員が必要と考えており、熊本県と協議をした上で、車道4m（2車線）、歩道3m（両側）を標準とした14m程度の幅員が必要ではないかと考えている。 ただし、平時に車が速く通るようなものにはならないよう整備を工夫し、十分な幅員の歩道を確保しつつ、地元の方や観光客も歩いていただけるような国道にしていきたいと考えている。</p>
4	<p>・青井阿蘇神社前に門前町の計画があり、市の直轄事業で整備すると思うが、国道の拡幅や公園（門前町）等を整備するにあたり、平均して減歩率が何%になるのか。</p>	<p>・減歩率の考え方については、減歩率を緩和する工夫として、先行買収という仕組みがある。その先行買収で、どれだけ土地が買収できるかにより減歩率が変ることから、現段階で見定めることは難しく、お示しすることができない。</p>

「青井地区被災市街地復興土地区画整理事業（案）説明会」における主なご意見・ご質問

開催日時： 令和4年2月18日（金）14：00～（2回目）、18：00～（3回目）
 会場： 東西コミュニティセンター

	ご意見・ご質問	回答（市）
1	<p>・資料はよくできているが、人吉らしさとか賑わいの創出について具体的にどういうものなのかが分かりにくい。また区画整理も伊佐市の事例を見たことがあるが、らしさや賑わいが見えなかった。画像とか立体的にまちをイメージすることができれば、もっとわかりやすくなるのではないか。</p>	<p>・青井阿蘇神社周辺での賑わいの場づくりを進めるとともに、どのような景観や風情が人吉らしさであるか難しい面もあるが、青井、中心市街地、老神の3地区を回遊できるまちづくりや、基盤、安全性を確保した上で、色合いなど街並みについて、一定のルール作りを進めていく必要があると考えている。</p> <p>・本日の資料は、事業区域案の説明が主な内容であり、どのようなまちを作っていくのかについては、今後具体化を進め、イメージを伝える資料の工夫をしていくとともに、引き続きご意見をいただきながら、人吉らしいと思ってもらえるようなまちづくりを進めていきたい。</p>
2	<p>・意見書については出しにくい人もいることから、過去の主な意見や回答を要約したものでもいいので地域住民に提示するなど、意見を出しやすいように配慮してほしい。</p>	<p>・地区別懇談会等では地区別懇談会だより等で主な意見を発信してきたが、今回いただいたご意見を踏まえ、事業計画検討会以降についても、ご意見等を取りまとめ、市のホームページ等を用いつつ、ホームページが見られない方への配慮も踏まえ、何らかの形で発信していきたい。</p>

「青井地区被災市街地復興土地区画整理事業（案）説明会」における主なご意見・ご質問

開催日時： 令和4年2月19日（土）14：00～（4回目）、18：00～（5回目）

会 場： 東西コミュニティセンター

	ご意見・ご質問	回答（市）
	意見・質問なし	